

人力の「プロフェッショナル」 企業として 誇りをもつて

2画面によるイメージ入力

「イズインテックはお客様のご要望に応じたデータの入力・変換・デジタル化等の情報処理サービスを行っております。1964年設立当時の「パンチカードシステム」は穿孔することで「カード」に情報を記録しておりましたが、パソコンの普及に伴い誰もが手軽にデータ入力が可能となりました。現在、富山本社を中心に横浜・仙台・北海道など200台を超える専用の入力機器を有し、設立以来の豊富な経験を生かし品質を維持するための訓練を重ねた技術者による高品質なサービスを提供しております。

当初から主力であったデータ入力業務も原票からの入力のみならず、スキャニングにより伝票

入力によるイメージ入力を実現しました。1991年に設立した「イズインテック」は、データ入力の専門会社として、多くの企業様にご愛顧いただき、現在では、横浜、仙台、新潟、大分、北海道に支社を構えています。

データ入力業界は、入力形態の多様化や他業種からの参入など、大きな変革の波にさらされています。データ入力のプロフェッショナル企業としてお客様に高品質で安心できる成果物を提供し、イズインテックにしかできないきめ細やかなサービスとゴミ削減による環境への貢献を図ります。

「イメージ入力」のシェア拡大を目指しております。今後は文書や画像などのスキャニング事業を展開し、お客様の業務効率の改善にお役に立てるサービスに取り組んでまいります。



スキャニング作業



入力専用ルーム



代表取締役社長
大谷 絹江

設立 1991年4月設立
資本金 5,000万円
本社 富山市下新町6-22(インテック富山第六ビル)
事業所 富山、横浜、仙台、新潟、大分、北海道
<http://www.withintec.co.jp/>

沿革

1964年1月に富山計算センター(現・インテック)のデータエントリー部門として発足し、1991年4月に「インテックとともに歩む」という由来の元、イズインテックがスタートいたしました。その後、横浜・仙台・新潟と支社を開設し、2006年1月に大分、2008年5月に北海道支社を開設し現在に至ります。